

一般社団法人日本映像アーキビスト協会 2023 年度事業計画書

1. 映像アーカイブに関する調査研究～

- 公式ホームページの充実とコミュニケーションツールを用いた交流の試行
 - (1) 各研究会(分科会)⇒コミュニケーションツールである Microsoft Teams が制約のなかった「クラシック」から、制約のある無料版となった中で、どの様に各会員が自発的に各種研究会を発足、運営可能とすべく活動を行えるか模索する。すでに開設している研究会に加え、映画保存に関する技術的なノウハウやベストプラクティスについて共有を行う研究会や、日本における映画・映像保存法成立の可能性を考える勉強会を行うコミュニティ等の発足を検討。
 - (2) オーラルヒストリー⇒本年度も当会もしくは会員が関わるイベント等の採録・公開を行う。また、映像アーカイブに携わる人々のオーラルヒストリーについては現在、対象者の検討を行っており、本年度から本格的にインタビューを始める。
 - (3) 「ヒアリングによる日本タイミング史」のプロジェクトの協力、協会ホームページへの掲載⇒会員の郷田真理子さんによる「現像所技術者に聞く ー日本タイミング技術史をまとめる試みー」を、引き続き協力、ホームページへの掲載を行う。
- セミナー、ワークショップの企画と実施の検討
 - 会員(ないしは一般への公開の可能性を含めた)に対する設立後初の対面セミナーあるいはワークショップの開催を検討する。
- アーカイブ・ツーリズムの企画と実施の検討
 - 映像アーカイブ活動の現場や映像アーカイブと重要な関わりを持つ場所を視察し、活動に携わる映像アーキビストや関係者との交流を図るために、アーカイブ・ツーリズムの企画を検討する。

2. 映像の文化的、芸術的、歴史的及び教育的価値に対する社会的認識ならびに関心の向上促進

- 基金設置を含めたファンドレイジングの方法の調査と検討
 - 当法人による基金設置を含め、映像アーカイブ活動の立ち上げと継続を支えるためのファンディングとして、公的支援やメセナ等の民間支援の可能性を検討するために、情報収集を行う。

3. 映像アーカイブ機関ならびに隣接機関との連携、協力

- IMAGICA-EMS との共催で、勉強会「映画フィルムを後世に伝えるために今できることー

再発見するリリースプリントの価値」を更に発展させるための方策を検討。

- 日本版 CNC 設立を求める会 (action4cinema)との間で、映画振興と映画保存に関する公開討論会の開催を検討する。
4. **映像アーカイブ、及び映像アーキビストの認知向上を目指す広報活動**
- ホームページ、Twitter を活用し、映像アーカイブの重要性、映像アーキビストの社会的認知を図る。非会員に向けたイベント開催も模索。
5. **2022 年度定時総会の開催**
- 2023 年度定時総会を開催する。なお、今年度もコロナ禍の影響を考慮し、前年度に引き続き、オンラインによる総会開催の可能性を検討する。報告会と「JAM2023」は対面イベントとして開催を検討する。

以上